

神奈川県立岩戸養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立岩戸養護学校における第4回学校運営協議会
開催日時	令和5年2月20日(月) 9:30~11:30
開催場所	神奈川県立岩戸養護学校 会議室
出席者	学校運営協議会委員5名 事務局教職員8名
次回開催予定日	令和5年6月(詳細は未定)
問い合わせ先	神奈川県立岩戸養護学校 副校長 小川 明夫 Fax. 046-849-3200 電話 046-839-4502
下欄に掲載するもの	議事録
審議(会議)経過	<p>1 学校長挨拶</p> <p>2 会長より 今回は今年度の取組及び評価について学校から報告してもらおう。学校運営協議会は校長の学校運営について承認をいただく場。忌憚なき意見をいただきたい。</p> <p>3 今年度の本校の取組について</p> <p>(1) 授業運営グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食開始に伴う日課表の改訂、授業改善を行った。 ・国立特別支援教育総合研究所(以下N I S E)との連携をした。 <p>《質疑応答・意見交換》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食は楽しく、おいしくいただいている反面、給食が苦手な生徒もいる。苦手な生徒への対応も大切である。 ・町内会は超高齢社会となってきている。町内会の役員は輪番制で1年たてば交代である。特別支援学校の生徒がもどっていく場として認識し、力を身につける必要がある。 <p>(2) 管理運営グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、シェイクアウト訓練。引き取り訓練、不審者退避行動訓練災害用伝言ダイヤルの活用訓練を実施。 ・給食試食会を実施。三浦初声高校、海洋科学高校と食を通じた連携。 <p>《質疑応答・意見交換》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強盗や自然災害、ミサイルのアラートなどもこれから必要となるかもしれない。危機管理は大切である。 <p>(3) 教育支援グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N I S Eと連携、プログラミング教育実施に向けた取り組み。 ・部活動は選択教科という形で実施。特体連の大会にも参加。 ・岩桜祭は3年ぶりに、職業製品販売会も2月に保護者及び、地域の方、中学3年生を招いて実施。 ・情報班はホームページの更新を多く行い、地域に情報を提供した。 ・P T Aは無理なく楽しく、負担がないように、そして教員、保護者の交流の場となるように実施。保護者から横のつながりを作ることができ、良かったとの意見をも得た。 <p>《質疑応答・意見交換》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員会に担当の先生が入ったため、保護者の方は楽しく参加していたと思う。P T Aでの活動を全校の保護者に還元できればよかった。保護者の方が気軽に参加できることを伝えていきたい。 <p>(4) 支援連携グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季公開講座の実施、地域の方との交流実施した。 ・支援だよりを月1回発行。ホームページに掲載し地域に発信した。 ・進路だよりを2か月に1度発行し、ホームページに載せた。

	<p>《質疑応答・意見交換》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポッチャは学校で教わったことがきっかけとなり、地域でも行うようになった。チームが市で優勝し、交流試合を申し込まれるようになった。高齢者にはちょうど良いスポーツである。 <p>(5) A部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の特性に応じた授業、B部門との交流を行った。授業アドバイザーから助言を受け、放課後に振り返りを実施し授業改善を進めた。N I S Eから講師を招き、iPadの使い方のアドバイスをいただいた。歯科医師や外部の専門家と連携し助言を教育にいかした。今後も職員の専門性向上のため研修をしていきたい。 <p>《質疑応答・意見交換》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後ICTがカギとなる。今後は協同的な学習を踏まえながら、個別最適な学習を行っていくこととなる。そのためにAI等が必要となる。 <p>(6) B部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジタイムでは生徒が学びたいことを自主的に選んで学習した。 ・振り返りシートに、生徒自らが評価をし、授業改善につなげた。 ・食育では三浦初声高校と連携を進めた。感想を伝え交流をもった。 ・生徒の実態が変わってきたことにより、不登校や授業に参加できない生徒も多いこと。医療機関との連携も必要になっている。 <p>4 学校評価について</p> <p>(1) 学校評価アンケート集計結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問の各項目で「思う」「ほぼそう思う」という高い評価をいただいているが、「わからない」という評価が高い項目は、担当グループと共有し、取り組みの様子が変わるようにしていきたい。保護者からは、現場実習、進路、地域への理解、授業の様子、学校の取組に対する発信等のご意見、ご要望をいただいた。学校全体で共有し、改善に向けて対応していく。 <p>《質疑応答・意見交換》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が伝わっていないことがあるので、伝わるような対応が必要。 <p>(2) 学校評価</p> <p>「3 進路指導・支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年の授業では、企業と福祉サービスそれぞれの特徴や求められている力等について、映像を交えて紹介した。次年度も映像の収集に努め、より多くの企業、事業所を紹介できるようにしていきたい。 <p>「5 学校管理・学校運営」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを取り入れ、会議を行った。また日中の時間を有効活用し、職員室で事務作業をする教員も見られるようになってきた。 ・防犯、防災の訓練では、新たなマニュアルについて再度検討していく必要がある。 <p>《質疑応答・意見交換》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が将来の生活をイメージできるようにするのは大切である。 <p>5 次年度の教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい日課表について <p>6 不祥事ゼロプログラム検証結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不祥事防止会議」、事故不祥事防止研修を計画的に行った。4月末には生徒との関係性、ハラスメントについての研修、8月末には総合教育センターから講師を招いて、アンガーマネジメントの職員研修を実施した。今後も研修を行い、職員の意識を高めていくことで、事故や不祥事防止に努めていく。 <p>《質疑応答・意見交換》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止ゼロプログラムの検証結果資料を見ると、「さん」付けについて、職員研修の内容、取り組みなど、自分の所属でも同様の取組をしていて頷ける部分がある。 <p>7 次年度の学校運営協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の委員については、今後またご相談をさせていただきたい。6月までに通知を出させていただく予定。 <p>8 校長より挨拶</p> <p>9 事務連絡</p>
<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・学校評価アンケート集計結果（保護者配付用） ・令和4年度学校評価 ・不祥事防止ゼロプログラム検証結果

